

# 5.1chシアターを 目指して 日々進化!



## 完成度の高いシンプルスタイルで 5.1chシアターを目指す

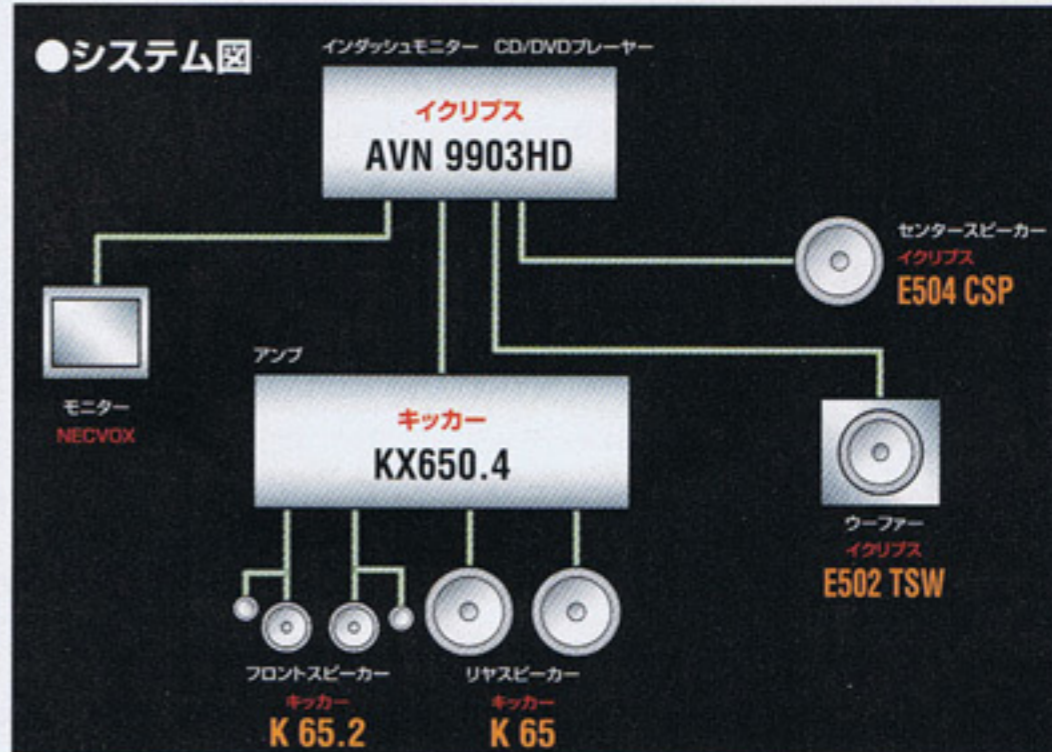
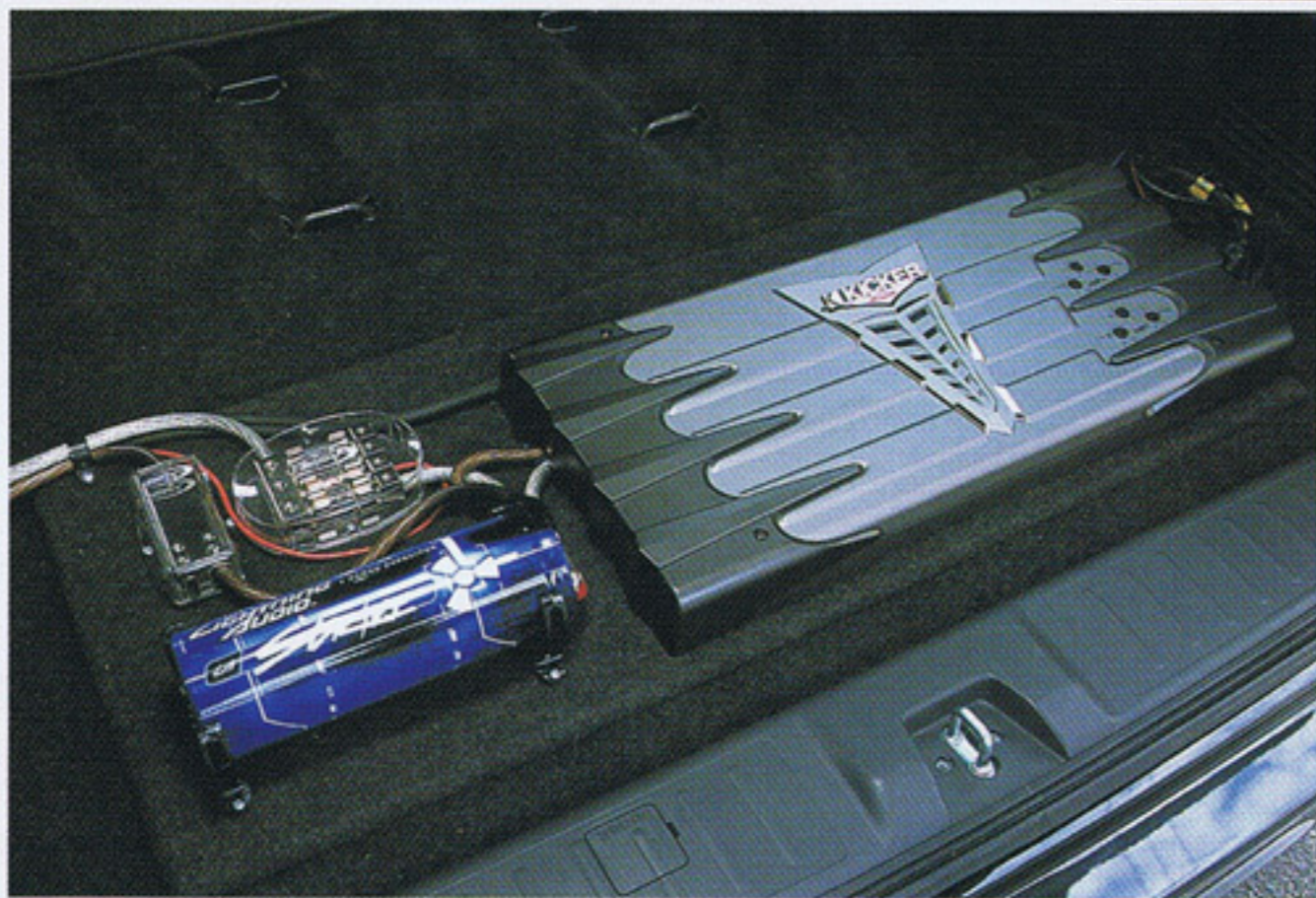
スノボに行くため、HRVからステップワゴンスパイダーの乗り換えという太田さん。当初はイクリプスのシステムを組んでいたが、満足できなくなって名古屋のプロショップ「ホットワイヤード」の門を叩くことになる。「5.1chのシアターを目指しているんです。最初に組んでいたイクリプスのヘッドユニットとセンタースピーカー、ウーファーを残して、現在はキッカーのフロントスピーカー、サラウンドスピーカー、アンプをプラスして組んでいます。でも、50%ぐらいの完成度なので、第2段階としてキッカーのサブウーファー、アルバインのプロセッサーを追加する予定です」と語る太田さん。ヘッドユニットはイクリプス製のCD、DVDのインダッシュモニターとなり、



フロント部のモニターとしてそのまま使用。新たに天井にフリップダウン式のNECVOX 8インチモニターを設置し、5.1chシアターとしてのモニターに使用する。リヤのゲート部分にはキッカーKX650.4アンプを置き、シンプルさの中にも迫力あるイメージを演出。その上方にはサラウンドスピーカーキッカーK65が立体的に埋め込まれ、最適な音を作り出しているのだ。「完成度を高めるためにスピーカーはフルキッカーにする予定。なんとか年内にはサブウーファーを入れたいんですよ」と語る太田さん。シンプルさの中に、最高の音質を追求するステップワゴンは、フルキッカーという最高のアイテムを手に入れることになる。

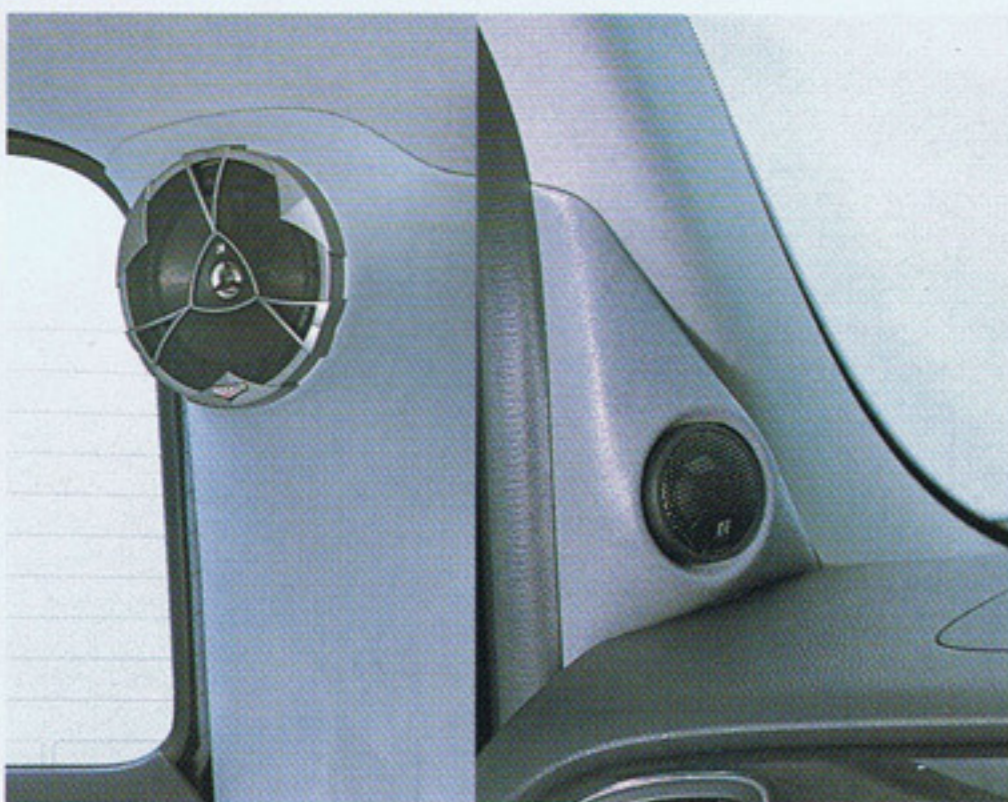


Point



## スピーカーはフルキッカーで最高の音を追求する!

現在キッカーの装着されているものはアンプ、フロントスピーカー、サラウンドスピーカーとなり、フロントのセンタースピーカー、ウーファーは以前のままでイクリプス製をそのまま使う。そこでオーナーは更なる音質アップを狙って“フルキッカー化”を検討中。今後サブウーファを装着する予定となっている。



**太田 竜介**  
[愛知県] さん  
ステップワゴン

「ホットワイヤードに通いだして半年ぐらい。いろいろと相談しながらやってきました。年内にはフルキッカー化したいです」と語る太田さん。



天井にはフリップダウン式のNECVOX製8インチモニターを装着。セカンドシートでの快適な5.1chサラウンドシアター空間を作り出してくれる。



フロントのモニターはヘッドユニット・イクリプス AVN9903HDのインダッシュモニターを使用。DVDプレーヤーとしても使い、システムの要となっている。

●制作ショップ ホットワイヤード TEL.052-262-8831 <http://hotwired.fc2web.com>

カーオーディオ

### 後悔しないステップアップ術

3

#### サブウーファー編

スピーカー、ヘッドユニットときたら、次はサブウーファー。これがあると無いとは音がまるで違う。ここまでのスピーカーとヘッドユニットの交換でそれなりに満足している人も、サブウーファーをプラスすることでの変化には驚くはずだ。

そんなサブウーファー選びのポイントだが、できれば単品のものを使いたい。ではパワードサブウーファーはダメなのかというと、決してそういうわけではない。ただ外部アンプが必要な単品のサブウーファーとパワードサブウーファーを比べると、パワーや質という部分でのアンプの違いが大きく、またパワードサブウーファーのエンクロージャー(箱)に多く使用されているプラスチックという素材も、音響的な面でいえばあまり有利な素材ではないということ

を覚えておきたい。次にサブウーファーのサイズだが、12インチ(約30cm)径のものがほぼオールマイティに使える。フロントスピーカーが13cm程度の径であれば10インチ(約25cm)径のものでもOKかもしれないが…、目安は12インチだ。

さて先ほども触れたが、単品のサブウーファーを鳴らすには外部アンプが必要となる。だが「1発のサブウーファーのためにアンプを買うのはどうも…」と躊躇することもあるだろう。そこでヘッドユニットに内蔵されているアンプに目を付ける人もいるかもしれない。つまりリヤスピーカーを捨てて、その出力をサブウーファーにまわそうというのだが、これは正直言ってキツイ。例えばヘッドユニットでは内蔵アンプの最大出力が50W×4などと表記されているが、外部アンプのもの比べるとそれでも半分以下、ものによっては1/10程度ということになる。これではパワー的に厳しい。



サラウンドシステムを目指さない場合でもサブウーファーはぜひ欲しいアイテム。フロントスピーカーのみの場合、低音域は「無理をして出している」ともいえる状態。CDに収められている音楽信号をしっかりと引き出そうとするならば、サブウーファーの追加は必須といってもいいほどだ。